

令和5年度大東市障害者理解促進事業(精神障害)

カサンドラ症候群

発達障害がある人と身近な人の思いが
すれ違わないために

家族とのコミュニケーション...
困っているけど周りの人に言っ
ても、あんまり理解してもらえな
いなあ。

相手はどうしてイライラして
いるんだろう？

私の思っていることが伝わって
いない気がする。



お互いの性質を知るために聞きに来てください。

[日時] ▶▶▶ **12月16日(土) PM13:00~**受付開始
講演時間 **PM13:30~15:30**

[会場] ▶▶▶ **大東市立生涯学習センター アクロス 多目的室**
(大東市末広町1番301号ローレルスクエア住道サンタワー内)

講師紹介： 上野大照 先生

オフィス・コミュニケーションズ 代表
日本ブリーフセラピー協会 大阪支部長
さくメンタルクリニック 顧問
関西カウンセリングセンター 講師

カサンドラ症候群とは・・・

ギリシャ神話の女神の名前に由来しています。
元々はアスペルガーの夫を持つ妻についてのもので、
病名ではありません。

アスペルガーの当事者である夫と生活をする上で
起きた困りごとを、妻が周囲に話しても共感してもら
えない状況が続き、心身に症状が出ることを示した
ものです。

夫婦・パートナー・親子・職場・友人等、身近な人
とのコミュニケーションですれ違いを防ぐために知っ
ておきたいことを聞きに来てください。



事前予約制
定員100名

のぞみ相談支援センター 担当:松本

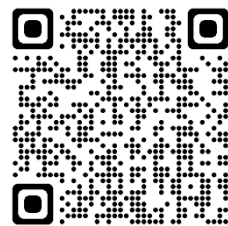
TEL 072-872-7199

FAX 072-395-1810

住所 大東市曙町1-24-1F

お申し込みは、電話・裏面の申込用紙・FAX、または右のQRコードからフォームの
入力をお願いします。

手話通訳・要約筆記が必要な方は12月7日までにご連絡をお願いします。



上野大照先生 紹介

末期がん、重度の精神疾患を数多く体験した代替医療現場から、心と人間関係の力に注目し、心理学を通信大学にて履修。ほどなくして、現場で早急な対応に迫られてきたゆえに、長い時間をかけた心理支援に疑問を持ち、当時、高い効果性を示したNLPによる神経症治療・トラウマケアを民間にて従事。

心理療法提供団体にて主任カウンセラー、主任講師を兼ねた理事長職を3年経験した後に独立。

現在のオフィス・コミュニケーションズを開業。

その後は対話によって短期間で問題を解決する心理手法・短期療法（ブリーフセラピー）に魅せられ、大阪で短期解決専門のカウンセラー・カウンセラー養成講師、一般向け心理教育講師を兼ねている。

個人セッション、グループセッション、チームコンサルティングなどを含め、相談総件数は、延べ約13000件。（現在も年間800件ほどの相談支援を実施）

現在は、精神科医と組み、地域医療にも貢献。

発達障害の臨床にも専門性を持つ。

令和5年度大東市障害者理解促進事業 申込書

FAX番号 072-395-1810

申込日： 月 日

お名前 _____

お住まい

1. 大東市民
2. 大東市内に通勤、通学等（所属先 _____）
3. 大東市以外

電話番号 _____

この事業はどこで（どなたから）お知りになりましたか？

- ・大東市報
- ・のぞみ相談支援センター
- ・市役所
- ・医療機関
- ・保健所
- ・障害福祉サービス事業所
- ・紹介

発達障害のある方とのご関係性を教えてください。

- ・当事者
- ・家族
- ・支援者
- ・市民
- ・学生
- ・その他

その他 配慮が必要なことがあればご記入ください。

※受講に当たり手話通訳や要約筆記を希望される方は12月7日までにお知らせください。